

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット2019年10月7日 第110号
TEL592-5000 fax 571-4346
803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

「本当の意味で多様性がある日本社会の実現」を、 そのために憲法を守り、発展させよう!

9条の会・北九州憲法ネット
代表世話人座長 荒 牧 啓 一

ラグビーワールドカップ(日本大会)で、日本代表が3連勝と初の8強入りを目指し、頑張っています。日本代表チームは、様々な国籍、人種の

選手が、「ONE TEME」をスローガンに力を発揮しています。まさに「多様性」の力です。

10月4日、臨時国会が始まりました。安倍首相は、所信表明演説で「令和の時代の新しい国づくりの道しるべは憲法だ」「令和の時代に、日本がどのような国を目指すのか。その理想を議論すべき場こそ、憲法審査会だ」と憲法改正についての執念を改めて露わにしました。しかし、安倍首相は、相変わらず憲法及び憲法審査会について、理解されていないようです。憲法は国のあるべき理想を語るものではありません。権力を縛り、国民の人権を保障するものです。憲法審査会はいくまで憲法の改正の発議をするところです。憲法の議論の場は、予算委員会などほかにもあります。

安倍首相は、改憲論議の是非を訴えた参議院選挙に勝利したことで「議論すべきとの国民の審判は下った」と繰り返しています。しかし、自民・公明の与党に日本維新の会など「改憲勢力」が国会発議に必要な3分の2を維持できなかったことも重く受け止めるべきです。マスメディアによる様々な世論調査でも、国民の「憲法改正」への関心は低い結果が出ています。

臨時国会では、消費税10%増税と経済の問題、日米貿易交渉、原発再稼働・関電の原発マネー還流の問題、沖縄辺野古の新基地建設問題など、たくさんの課題があります。

さて、ここ数日、関西電力の岩根社長ら経営幹部20名が、高浜原発のある福井県高浜町の元助役から約3億2000万円相当の金品を受け取った**原発マネー還流疑惑**が浮上しています。この問題は、会社法上の取締役の贈収賄(会社法967条)、特別背任(同960条)という可能性だけでなく、原発再稼働、原発行政全体の問題と絡む問題です。解明が必要です。

官役の**指定弁護士**が控訴しました。9月19日の東京地裁の判決(福島原発事故における刑事責任を問う業務上過失致死傷被告事件について被告3名が無罪)は、到底納得できません。この裁判の争点は「**東電が、大地震による巨大津波が予測しえたか否か**」ですが、東電に対し 原発事故の避難者により民事訴訟が全国で30件提起され、既に12件の一審判決が出て、いずれも東電に対し、賠償を認める判決が出ています。民事裁判と刑事裁判とは違うとはいえ、この刑事

そして、福島第一原発事故をめぐる東京電力の旧経営陣3人が強制起訴された裁判で、**検察**

裁判は、裁判官らが政府の原発行政・原発再稼働に対し、忖度しているとしか言いようのない内容です。審理の中で、指定弁護士(検察官役)から、2002年の巨大地震の国の防災機関による「長期評価」、08年の東電による巨大地震時

安倍首相は、改憲ありきで自民党が改憲論議に臨む新たな体制を固めました。内閣改造後の記者会見で、衆参両院の憲法審査会で「今後は、自民党が強いリーダーシップを発揮していく」と述べ、**細田博之元幹事長**(自民党憲法改正推進本部長、首相の出身派閥の長で、自衛隊明記など改憲4項目をまとめた)を憲法審査会会長に、衆院は**佐藤勉**(元国会対策委員長)、参院は**林芳正**(元文部科学相)をあてています。これは、野党とのパイプや交渉力に重きを置いた布石と言われています。

安倍首相は、「多様性」という言葉お好きなよう

に福島原発に**15.7m**の巨大津波が想定されるという**試算**の存在の指摘(同じ太平洋沿岸に原発を持つ日本原電は施設を改修)があったにも関わらず、これらの事実を判決は否定ないし無視しているものであり、控訴は当然です。

です(「所信表明、キーワードは多様性」首相、空疎な多様性、西日本新聞10月5日朝刊)。しかし、首相の提案する政策は憲法改正案も含め、偏狭な保守主義・回顧主義的なものばかりです。ラグビー日本代表チームに学び、実質的な政策で多様性を実現して欲しいものです。

しかし、安倍首相には到底無理なようですから即退陣を要求しましょう。



9条の会・北九州憲法ネット第16回総会終わる 憲法運動の状況がよくわかる記念講演会

9月14日、ムーブ5階で、「9条の会・北九州憲法ネット第16回総会」が行われ、29名が参加しました。司会は、後藤景子弁護士が行い、冒頭、荒牧啓一憲法ネット座長の主催者挨拶に続き、三輪俊和副座長による、総会議案の説明・提案があり、承認・決定が行われました。

記念講演は、9条の会世話人・清水雅彦氏(憲



法学者・日体大教授)が「安倍政権があきらめていない9条改憲と、運動の課題」と題して行いました。

清水氏は、まず、安倍首相の改憲の流れを説

明していきます。安倍改憲の背景には、右翼的潮流の「日本政策研究センター」の伊藤哲夫氏の提案がある。伊藤氏は「国民世論はまだ、憲法を正面から論じる段階には至っていない。だとすれば、今は、このレベルから、硬い壁をこじ開けるのが唯一の道。その上で、真の日本になっていくという事だ」と、改憲の道筋を主張しています。自民党は、2005年に「新憲法草案」を作成しているが、さらに2012年に「日本国憲法改正草案」を発表しました。この憲法改正案は、国防軍規定をつくること、また、天皇主権、人権規定の後退、緊急事態条項挿入など、今ある国民主権を大きく後退させる内容となっています。

清水雅彦氏は、この流れを指摘し、「安倍首相は、”とにかく改憲“の姿勢を強めてきており、現在の自民党改憲案は、2012年の”日本国憲法改正草案“を一時棚上げして、現憲法の、9条1項、同2項は、残しながら、自衛隊を憲法の中に入れることだけを優先して改憲するなどでの、”改憲案“で、国民からの支持を取り付けることを

狙っている。」と、改憲派の狙いを明らかにしました。

清水雅彦氏は、続けて、この間の憲法をめぐる運動の様々な流れや、その問題点を話していきます。このなかで、憲法学者や、政治家の考え方の紹介やその批判が続き、私たちが初めて聞く話も多く、参考になりました。

改憲反対の運動では、”野党と市民“の共闘だけではなく、労組も大きな力量を出してきていることの紹介もありました。「1000人委員会」、「憲法共同センター」「憲法会議」などが合流し「9条壊すな！総がかり行動」の結成、さらに2017年（アンケートの声）

参加者から、講演会感想アンケートが寄せられました。一部紹介します。

- * 明快な、憲法についての解説は、わかりやすく、面白かった。積極的平和主義の話はなるほど。総がかり行動実行委員会の経緯は知らなかった。木村草太の話は意外だった。DVD「戦争と自衛隊」の論評で好意的に感じた。全体的には、来た甲斐がありました。(男・60代)
- * 安倍改憲＝9条改憲および危険性がわかりやすく、よく理解できました。改憲阻止運動論も、具体的でわかりやすく説明いただいてよかった。特に、若者に対して・・を広めていく点についても、具体的でよかった。本当に、最近、参加者が少なくなっていることも総括して、参

には「全国市民アクション」が結成され、現在、北九州でも取り組まれている「安倍改憲 No！3000万署名」への流れが説明されました。この背景に、労組の全国組織。連合と全労連の統一行動が実現したことが大きく貢献してことが話され、参加者も納得しているようでした。

この流れを大きくしていくことが、憲法を守る運動の展望をつくることだと思いました。

最後は、「運動を強化するためには、若者を参加させる取り組みを強めることが、どこの組織にも求められている」ことが強調されました。

加者を増やす努力をしていく必要がと思いました。(男・60代)

- * 今までとは違った角度で、新鮮な感覚でお話を聞かせていただきました。大いに、個人としても努力をし、周りに広げていきたいと思いません。(女・70代)

- * いろいろな、憲法学者の方のご意見も聞け、参考になりました。労働組合のこと、60年代、70年代の学生運動のこと、少し上の世代の方々への疑問があり、日本の国の若者がおとなしいのも、あの出来事が、下の世代に映ってないからなのかと思ったりしていました。最後のご意見が印象深く残りました。(女・60代)

憲法随想 「無用者階級」

野瀬 秀洋

AI（人口知能）とバイオテクノロジーの進化で、将来、人間の大半が「無用者階級」となるという。一部の技術者や、資本家階級以外の庶民は、”無用“という事か？歴史学者ユアル・ノア・ハウリの説。AIの出現は、今や世界を激変させている。戦争すら、”人間なしで”できるというから恐ろしい。自治体の仕事の中でも、水道事業などで導入が検討されている▼産業の生産性が上がったなら、その分労働者の労働時間が減り、豊かな生活ができるはずが、逆に、生活が苦しくなる。まさに資本主義が、労働者・庶民と敵対関係に

あることを、改めて気付かされた▼「もう一つの世界は可能だ」の著者スーダン・ジョージは「人間の存在のにとって不可欠な公共財のすべてを、貪欲な利潤追求の対象に変えてしまうような世界経済のすさまじい奔流むき出し資本主義でなく、また、その結果として生まれた、激しい貧富の差に覆われた”今ある世界“でなく、それと異なる”もう一つの世界“、人間を主人公とした世界に生きる権利があること、そのような世界を築き上げることは可能」と説く。私たちも、もう一つの世界を目指す日々の努力が求められていると思

う。

総がかり行動実行委員会 臨時国会開会日行動に 450 人 消費税増税許さない! 改憲発議は絶対させない! 安倍政権は退陣! 9 条改憲は必ず阻止!

総がかり行動実行委員会・安倍9条改憲 NO! 全国市民アクションは 10 月 4 日昼、国会議員会館前で、「消費税増税絶対反対!大軍拡予算反対! 韓国敵視を煽るな!改憲発議許すな!辺野古新基地建設は断念を!10・4臨時国会開会日行動」を行い、450 人が参加しました。臨時国会から来年の通常国会にかけて安倍改憲阻止のたたかいの正念場。市民と立憲野党が共闘し、改憲発議を許さないたたかいを草の根から広げていくことを決意しました。



カンパありがとうございます。そして、お願い!

当会は、一貫して、憲法及び9条を学び、守り発展させるため、学習会や講演会、署名活動、街頭宣伝などの諸活動を行ってきました。ニュースの発行は、90 号になりました。毎回700人の方にニュースをお送りしたり、手渡ししたりしています。その費用は、当会は会費がないのですべてカンパで賄っています。安倍政権の憲法破壊、立憲主義無視の暴走を阻止する戦いは山場です。しかし、当会の活動資金が枯渇しています。皆さんのお力で当会の活動を支えてください。

振替番号：01700-8-115768 名義：「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ 8 月 河村智重子 村上憲子 木村昌稔 加藤雅孝 安藤昭雄 山口司郎 山田栄子 岸川真琴 原田紀子 渡辺絢子 山本知恵子 内田つなお 日高琢二 増野ノリ子 小沢和秋 川原巖誠 中川紘子 田島勝彦 松涛秀道 尾形誠二 近藤伊都子 山中正子 渡辺和子 三ヶ尻裕子 渡辺末子 有馬和子 黒坂佳男 吉田素子 上田義彦 上田秀子 上西創造 **9 月** 深川和久 井上文子 小倉東総合法律事務所 弁護士荒牧啓一 蓼沼法律事務所 蓼沼一郎 松永奉義 藤本智恵 佐多道人 来田時子 おりお総合法律事務所 **10 月** 北九州第一法律事務所 黒崎合同法律事務所 小野瀬和恵 **メッセージ** 少額ですみません。6/10 来田時子

9条の会メールマガジン詳細版2019年9月25日第310号

編集後記～臨時国会、憲法審をめぐって安倍改憲との対決です

10月4日から始まる臨時国会。野党からの国会早期開催要求を無視し、半年以上も予算委員会を開かず、難問山積の時期に3ヶ月以上も国会を開いてこなかった安倍政権。いよいよ安倍首相は第4次再改造内閣と自民党執行部の再編で改憲への態勢を整えて臨時国会に臨む。安倍改憲とのたたかいの正念場です。反撃の運動を強めましょう。(T)